

前回会議における主な意見

○全般

- ・保育所と幼稚園の基準が異なる部分については、高い方の基準にあわせてほしい。
- ・子育て支援に関しては、もっと県の考え方を踏み込んで提案してほしい。
県として支援ができるように基準の中で位置づけてもよいのではないかと思う。

○既存の保育所、幼稚園及び現行の幼保連携型認定こども園からの移行の特例について

- ・移行特例の内容見直しについては、施行後10年ではなく、3年などもっと早い時期に見直してほしい。
- ・現行の保育所や幼稚園が幼保連携型認定こども園にスムーズに移行できるよう基準を設定してほしい。保育需要が高まる中、保育を必要とする子どもたちの受入施設にならないなければならない。

○食事の提供について

- ・教育標準時間認定（以下「1号」という。）の子どもへの食事の提供について、園の判断で弁当持参とすることができるようにした場合、同じ園において給食を食べる子どもと弁当を食べる子どもが混在することが想定されるが、食育の面などを考えて、すべての子ども達に同じ給食を提供するようにしてほしい。

○その他保育所と幼稚園が混在することによる検討課題について

- ・幼稚園と保育所の考え方が混在するという点では、食事の提供にとどまらず、インフルエンザ等の感染症や台風等による施設の休業の取り方など、検討すべき課題がある。
- ・その際は、利用者側のニーズを踏まえて施設側がどのような対応がとれるのか検討する必要がある。

○屋上園庭について

- ・園庭を屋上に設置した場合、夏は暑くて使用できない。特に2歳児などにとっては厳しい。地上の園庭と同様の環境が確保されることについて、具体的な審査基準が必要。

○その他

- ・アレルギーの子どもへの対応について専門的知識を有する職員の配置を検討してほしい。